

科目名	新興国経済と日本の中小企業 Emerging economies and Japanese SME	選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・火・5 限	-	-
担当教員名	南川 高範	e-mail	
<p>&lt;講義の概要と目的&gt;</p> <p>「新興国」経済及びその地域における地方の中小企業の活動の現状について理解を深めるとともに、そのビジネスの現場における課題への取り組みを学ぶことにより、自身の問題解決の方法論について考える機会を提供することを目的とし、企業家や専門家が各回オムニバス形式で講演を行う。企業家としては、新潟を中心としてグローバルなフィールドで活動している企業の経営者などの話を、専門家としては、研究機関に所属する研究者の話を担当し、主な対象は、日本と比較的近い東南アジア、北東アジア地域の現状把握、将来の展望についてである。</p> <p>国際的な現場で存在感を増す新興国における中小企業のビジネス展開について、現場に近い声に触れることにより、自らの直面する課題に置き換えて物事の把握、解決のための方法論を身に着けることを目的とする。</p>			
<p>&lt;講義計画&gt;</p> <p>1 週目（10 月 9 日）：  「本講義のガイダンス」並びに「中小企業の海外ビジネスを担う人材確保」 蔡聖錫（ERINA 経済交流部経済交流推進員）  ・環日本海経済研究所（ERINA）が過去 11 年間開催してきた留学生のための就職相談会などを通じて把握した新潟県内企業による留学生採用の実態・課題</p> <p>2 週目（10 月 16 日）[調整中]：  「製造業の新興国への進出」 関聡彦（hakkai（株）代表取締役社長）  プラスチック製品メーカーである hakkai 社（南魚沼市）がタイ・中国・フィリピンに工場進出した経緯・課題と今後の展望</p> <p>3 週目（10 月 23 日）：  「食品の輸出（酒）」 平島健（尾畑酒造（株）代表取締役社長）  ・「真野鶴」ブランドを持つ尾畑酒造（佐渡市）による日本酒の海外輸出の実情・課題と今後の展望</p> <p>4 週目（10 月 30 日）[調整中]：  「モンゴル経済」 吉田 至夫（新潟クボタ（株）代表取締役）  ・人口 300 万人弱の内陸国でありながら、鉱業を中心に急速な経済成長を遂げてきたモンゴルでのビジネスについて</p>			

5 週目（11 月 6 日）：

「新興国経済～東南アジアの状況」 舟橋學（国際協力機構（JICA）産業開発・公共政策部民間セクターグループ）

・インドネシア・ベトナムなど、近年日本企業の進出意欲が高い東南アジア地域諸国の経済・社会の状況

6 週目（11 月 13 日）[調整中]：

「ベトナム経済」 渡辺豊（新潟ベトナム協会会長）

・ベトナム経済の現状や現地進出企業の活動状況

7 週目（11 月 20 日）：

「サービス業の海外進出」 宮崎富夫（(株)宮崎商店副社長）

・新潟県内で「富寿し」チェーンを展開する宮崎商店（上越市）がシンガポールに sushi 店を進出した経緯・課題と今後の展望

8 週目（11 月 27 日）：

「地方銀行による中小企業の海外進出支援」 周思謀（(株)北越銀行コンサルティング営業部三条駐在上席調査役）

・県内企業の海外ビジネス拡大を支える北越銀行（長岡市）の取組と今後の展望

9 週目（12 月 4 日）[調整中]：

「県内の外資企業誘致」 クシャーニ ナーランゴダ（アダムイノベーション（株））

・新潟県南魚沼における外資系企業誘致の現状について

10 週目（12 月 11 日）：

「中国東北部への進出」 及川英明（ACROSS JAPAN(株)代表取締役）

・遼寧省・吉林省及び黒龍江省を中心に日本企業の中国ビジネス支援を行っている立場からの、現地の外資企業が日々直面している問題の紹介、今後の進出の可能性、対応策の検討

11 週目（12 月 18 日）：

「ロシアビジネスの現状」 高橋克郎（株式会社 JSN）

ロシアビジネスの最新情報、ロシア極東市場の動向、コンサルタント・貿易・ビジネスサポートの心構え等

12 週目（1 月 8 日）：

「アジア太平洋の FTA」 中島朋義（ERINA 調査研究部主任研究員）

・WTO と FTA の関係、TPP 構想とその挫折、今後の経済統合の展望

13 週目 (1 月 15 日) :

「ロシア経済の課題と極東開発」 志田 仁完 (ERINA 調査研究部研究主任)

- ・ロシア経済はマイナス成長が続くなど経済成長の鈍化に苦しむロシアが抱える課題
- ・ロシア政府が力を入れている極東開発の行方

14 週目 (1 月 22 日) :

「メコン地域の最新動向と ジェトロによる中小企業の海外展開支援」 小野澤麻衣 (JETRO 新潟貿易情報センター所長)

- ・日本貿易振興機構 (JETRO) が実施している中小企業向けの海外進出支援メニューと活用事例の紹介

15 週目 (1 月 29 日) :

「中国経済-数字からみる中国経済と実際に見る中国経済」 南川 高範 (ERINA 調査研究部研究員)

- ・中国の東北地方についてデータから見える経済動向と、現地で実感できる

※都合により、講義の順序が入れ替わったり、講師が変更になったりする場合があります。

<講義の進め方>

原則として、各講師による講義 (60 分程度) の後に、質問もしくはディスカッションの時間 (30 分程度) を設けます。

<準備学習内容>

毎回の講義を受講する前に、各講師の所属企業(団体)の会社概要・事業概要をウェブサイト等で把握しておいてください。

<教科書及び教材>

特になし。(各講師がその都度、必要に応じて教材を用意します。)

<参考書>

特になし。

<成績評価方法>

欠席 6 回以上は成績評価しない。

学生から多くの質問を期待します。質問内容や発言の積極性を成績評価に反映します。

受講態度(遅刻の有無や授業参加の積極性等)50%、期末レポート 50%で評価します。

<履修条件> 特になし。

<DVD による視聴> 可

<オフィスアワー>

非常勤講師によるオムニバス方式の講義のため、[minamikawa.takanori.60@erina.or.jp](mailto:minamikawa.takanori.60@erina.or.jp)宛てに事前に連絡するようにしてください。

<その他> 特になし。